



あたまの健康チェック® 事例紹介

2018

洛和会 京都健診センター

日本脳ドック学会 認定施設

洛和会京都健診センター

私たち洛和会ヘルスケアシステムは、京都に拠点をおく「医療」「介護」「健康・保育」「教育・研究」の総合ネットワークです。洛和会京都健診センターは、洛和会音羽病院と洛和会東寺南病院の2拠点と巡回健診の3つの柱で健診業務に従事しております。



日本脳ドック学会のガイドラインでは、認知機能検査の実施は推奨項目となっています。洛和会音羽病院健診センターでは、日本脳ドック学会認定施設であることから、脳ドックに認知機能検査項目として「あたまの健康チェック®」の付与を決定しました。

「あたまの健康チェック®」

健常群～MCI群の評価において国際的に高い信頼性があることや0～100の指数で経時的変化が受診者さまに提示できる点は、従来の検査法にない評価ポイントです。

またMMSEなど従来の検査法と比べ、より簡易的であり、検査内容についても65歳未満の

若年層の受診者さまにも抵抗なく受けていただけることや、検査内容がランダムなことから定期チェックにおいても検査内容を覚えてしまう等の懸念もありません。10分間の検査終了後には特段の事務作業が必要ないなど運用面での負担低減につながり、業務の効率化が図れています。



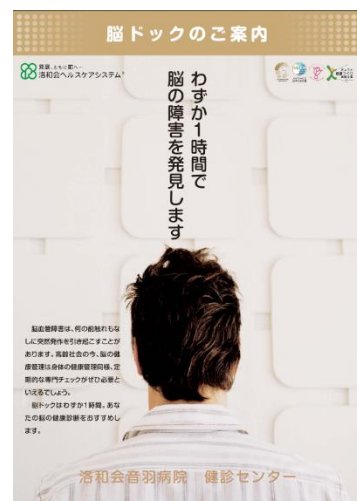
検査の実施は、看護師、保健師が担当しています。現場スタッフからは、検査を実施する上で、特段の職能を求められることがなく、運用しやすく、スタッフ間での検査方法の指導も容易で良いとの声が聞かれています。

脳ドック受診者の潜在ニーズに合致

認知機能検査の選定において最も注目したポイントは、受診者さまの潜在的なニーズに合致しているか否かという点でした。



当センターの脳ドック受診者層は40～60歳が中心であるため、従来の検査法のように、陽性の場合「認知症の疑いあり」となってしまう検査を受けたがらない傾向が強くなります。「できることならば予防の余地がある、より早期の前駆的な状態で知りたい」というのが脳ドックの受診者さまから聞かれる潜在的な声でありました。



「あたまの健康チェック®」は、従来の検査法と比べ、健常群～MCI 群での評価精度が高いことが国際的なエビデンスからも確認されています。陽性の場合でも「MCI の疑いあり」となり、認知症の診断には至らずまだ健常な状態であるが認知機能に微細な変化を検知したとの、結果を案内できるようになりました。



オプション検査としても

当センターでは、オプション検査としても「あたまの健康チェック®」をお勧めしています。血液検査による MCI リスク判定検査や遺伝子検査がありますが、それらは比較的高額なため、まずは安価で簡易に受けられる認知機能検査である「あたまの健康チェック®」をお勧めしております。認知機能検査で陽性の場合に、前述のリスク検査や遺伝子検査の検討を打診しています。



継続した情報の啓発

昨今は、当センターへお越しになられる受診者さまが、事前に当センターのウェブサイトを開覧いただく機会も増えており、当センターサイト上では、「あたまの健康チェック®」の独立紹介ページを設け、検査の紹介動画なども活用した情報発信を行っています。



健常群から前駆段階の MCI 群までの高精度評価が可能な検査ですが、いまだ、受診者さまは、いわゆる「認知症の検査」という誤認が多い印象があります。



今後は、認知機能低下のリスク要因などを列挙したり、働き盛りの 50 歳代など若年層が健常な頃から受けられる検査であるということも効果的にお伝えできるような工夫を検討していきたいと思います。



検査後のフォロー体制

洛和会ヘルスケアシステムでは、地域の総合医療グループという立ち位置からも、脳ドック受診後のフォロー体制の確保が重要であると考えています。



脳ドック受診後、受診者さまが希望される場合には、神経内科の医師による検査結果の説明を提供しています。また、検査結果から認知症の疑いが見られる方については、洛和会音羽リハビリテーション病院のメモリークリニック（もの忘れ外来）で専門医による対応ができるようなフローを構築しています。

【 次のような方には脳ドックをお勧めします 】

- 高血圧や脂質異常症、糖尿病などを指摘されたことがある方
- 家系に脳血管障害になった人がいる方

脳ドック




洛和会京都健診センター
音羽病院
〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2
0120(050)108

月曜日～土曜日
午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

※ 日曜日、祝日、年末年始
(12月30日～1月3日)を除く

洛和会京都健診センター

発展、ともに前へ…
洛和会ヘルスケアシステム®

